

少年水産教室

水産業改良普及センター矢野 美沙

1. 目的

地元沖縄の水産業への理解を深め、後継者育成及び水産物の消費拡大を図る。講義・見学・実習を通じて理解を深め、食育を通じて各家庭における地産地消を促すことを目的とする。

2. 開催日時及び場所

平成21年7月26日(日)

港川漁業協同組合

港川公民館

3. 対象

八重瀬町内の小学校高学年

- ・白川小学校
- ・東風平小学校
- ・新城小学校
- ・具志頭小学校

4. 講師

港川漁業協同組合組合長 樋岡邦彦

港川漁業協同組合(漁業士) 上原清秀

沖縄県水産業改良普及センター所長 糸数正

5. 内容

- ・沖縄の水産業について講義
- ・漁師さんのお話
- ・乗船実習(グルクン釣り)
- ・マグロ解体ショー見学
(20kgのメバチマグロ)
- ・調理実習
マグロの刺身づくり
もずくそうめんの盛り付け

八重瀬町内の4小学校より、5, 6年生21名の参加があり、保護者を含め40名の参加となった。

①～④班に班分けし、①②班は講義、③④班は乗船実習から行った。

講義は水産業改良普及センター糸数所長より、パワーポイントを使い沖縄の水産業についての講義と、「沖縄マグロ最前線」のビデオ鑑賞をおこなった。その後、港川漁業協同組合所属指導漁業士の上原清秀さんより、現場で働く漁師さんのお話があった。その中で、イルカは頭が良くて針に絶対引っ掛からないでエサだけを食べる事や、漁は魚と自分の知恵比べなど、漁をする中での生物のおもしろい話や、最近はゴミが多く獲れる魚も減ってきているなど環境問題についても触れ、幅広く関心を持たせ、子供たちに考えさせるお話となった。

乗船実習では、船長さんより「さびき釣り」の方法を教わり、グルクン釣りに挑んだ。グルクンやオジサン、カワハギなどが1度に3尾釣れたり、実習時間だけでは物足りないといった感じであった。

続いて、港川漁業協同組合の樋岡組合長による「マグロの解体ショー」が行われ、皆真剣に見入っていた。解体されたマグロのブロックを一人ずつ柵切りにし、刺身作りをし、モズクの盛り付けもした。その後自分たちで準備した海産物の試食会を行い、地元の海の幸を満喫した。

最後にお世話になった港川の海浜清掃を行い水産教室を閉校した。



1. 講義の様子



2. 上原清秀指導漁業士のお話



3. 乗船実習



4. 船長さんから釣り方のレクチャー



5. いっぱい釣れたよ



6. 樋岡組合長による「マグロ解体ショー」



7. マグロ刺身づくり



8. 試食会（マグロ刺身、モズク素麺等）



11. 集合写真



9. おいしい！



10. 港周辺をみんなでゴミ拾い